

衆院選後、政治はどうなる

毎日新聞社専門編集委員 与良正男よら まさおお

- * 解散前倒しのばたばた
- * 割れた選挙予想
- * 目立つ若い人の保守化
- * 自民党単独過半数が焦点
- * 野党一本化の効果は
- * キングルーカ―狙った安倍氏
- * 頼りない岸田流
- * 重要な主催者教育
- * だらしないメディア
- * 難しい連合の立ち位置



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は2回目でございますが、毎日新聞の与良さんにおいでいただきました。与良さんは1957年のお生まれで、名古屋大学から毎日新聞社に入られ、東京へ移ってから政治部、特に安倍晋太郎さん、三塚派等を中心に担当し活躍されました。政治部デスク、論説委員を経て、現在、専門編集委員をされておられます。

タイミングがいいというか悪いというか、選挙目前でございますが、与良さんはいへんしやべりにくいかもしれません、今の状況というの、もうすでにかなり正確に把握されておられるのではないかと思います。そういう意味では、この選挙がどう展開するのか、それから、その後の政局がどうなっていくのか、その辺の

ところを今日はお話をいただけるのではないかと思います。それでは、与良さん、よろしくお願いたします。（拍手）

解散前倒しのばたばた

与良 皆さん、こんにちは、本日はよろしくお願いたします。

最近、リモートの講演もやりますけれども、今日このような形でリモートではなくて皆さんの前でお話できるというのは本当に幸いだと思っております。

感染状況はこれから落ち着くはずですが、しかし、皆さんご存じのとおり、今、専門家たちは、冬の寒くなる時期と重なってウイルスもまた強くなる、その闘いというのは永遠に続くと思